



改築中、合同保育が有力視される坂本幼稚園

認定こども園開設へ大きな一歩

6月補正予算、不動産鑑定費計上

31年春



HIYOSHIDAI
平成29年7月1日

発行

日吉台学区自治連合会
日吉台学区まちづくり協議会
発行責任者 林 堅太郎
編集責任者 村澤 真保呂

題字は
4-11-2
梶谷清苑さん

お知らせ

2面の漫画、ひよちゃんはお休載しました。

具体的スケジュールを公表

開園時期最終確定は11月

認定こども園については、今年1月、市福祉こども部が市内藤尾学区で進めている認定こども園設置のスケジュールを例に、日吉台での認定こども園の計画素案を示している。この時の説明によると、日吉台幼稚園園舎は、開設希望の民間の法人事業者による賃借、土地については市保有で事業者による賃借とする。このため平成29年7月から8月に不動産鑑定を行い、法人事業者を公募のうえ

認定こども園設置計画で、越直美大津市長と日吉台幼稚園保護者とのミーティングが6月21

改築中・合同保育期間

通園手段、前向きに検討

越市長

保護者の不安解消へ

日、同幼稚園子育て支援室で行われ、越市長は「6月議会で建物（日吉台幼稚園園舎）を民間に引き取ってもらうのには価値を調べる予算を検討している」と述べ、関係住民や保護者に対し、日吉台幼稚園の現地に民間による認定こども園設置のスケジュールを公式に明らかにした。越市長は、こども園開設に最短のスケジュールとして平成29年9～11月、設置法人公募、ビアリング▽平成29年12月、開設計画決定▽平成30年夏、園舎改修工事開始▽平成31年4月、認定こども園開設を公表。事業者公募については「公立の良さを引き継いでもらえるところを選んでいければ」と思っている。事業者を決める選定委員会で（地元）意見を汲んだ内容を要件としていきたい」と発言、スケジュールの確定について「11月に最終的に分かる。分かればできるだけ早く知らせたい」と言明した。工事中の日吉台幼稚園児の扱いについて「ミーティングに同席した市の担当

空き家対策実行へ 各種団体へ協力要請

日吉台学区の空き家対策検討委員会は6月19日、市民センターに、学区の主要団体の会長を招き、これまでの空き家対策の検討報告を行うとともに

「空き家見守り」など今後の活動方針について各団体の協力を要請した。会長会議には、野々口義信学区自治連合会長、濱崎博空家対策検討委員事務局長、団体長からは呉屋之保学区社会福祉協議会長、中西耕司学区老人クラブ連合会長はじめ体育振興会、自主防災会議の長らが出席。濱崎事務局長が活動の経過報告、今後の活動方針について説明した。

今後の活動として第1段階「空き家見守り活動」第2段階では「軽微な維持管理支援活動」第3段階として「空き家の交流拠点活用」の各ステージを設定、学区まちづくり協議会に設置する空き家対策事業部が、各団体の協力を得ながら順次実施に移しステージをあげてゆく。第1段階の「空き家見守り活動」は、敷地内に入らず空き家を外から外観監視し、異常があれば所有者に通報、この活動はボランティアで行う。第2段階の「軽微な維持管理支援活動」は、敷地内の清掃、除草活動、建物の通風など所有者と契約のうえ有料の活動を行う。第3段階の「空き家の交流拠点活用」は、学区自治連や各自治会、団体などが空き家を借り上げ交流活動に使用する。

野菜マルシェ8日開催

まちかど健康チェックも

7月の野菜マルシェは8日午前10時、旧滋賀銀行日吉台出張所で開催。夏の元気な太陽をいっぱい浴びたキュウリ、ナス、トマト、タマネギなどの朝どり野菜が即売。今回は「まちかど健康チェック」が同時開催され、血圧測定、骨密度測定、健康相談などが無料で受診できる。

防犯功労者に 佐藤信治郎さん

大津市役所で6月6日、開催した平成29年度大津市防犯協会通常総会で、日吉台学区3丁目東在住の佐藤信治郎さんが、防犯功労表彰され市防犯協会長の越直美市長から表彰状を受けた。佐藤さんは、学区自主



防犯活動歴12年。自主防犯推進会設立当時から地元日吉台小児童の登下校の見守り活動ほか、夜間パトロール、学区内に出没するイノシシやサルなどの被害防止パトロールなどに積極的に参加。学区内で発生した高齢者が不明となる捜索活動にも率先参加、地域の防犯活動に尽力した。

「ごちそうさま」を宴席で



- 30 乾杯後、30分は自席で食事を楽しみましょう。
- 10 お開きの前の10分は自席に戻って食べ切りましょう。

食品ロス削減のため、宴席での料理を食べ切る運動にご協力を。

ごみ減量と資源再利用推進会議・大津市

先鋒 秋津緑さんのソプラノコンサート

日吉台小学校



秋津緑さんのソプラノコンサート

日吉台小学校卒業生のソプラノ歌手、秋津緑さんを招いた「ようこそ先輩・みどりさんのコンサート」が6月20日、同小体育館で開催。後輩の同小児童や近くの日吉台幼稚園児、大勢の学区住民ら前に秋津さんは、透き通った美しい歌声と圧倒的な歌唱力で会場を包みこんだ。

秋津さんは、平成10年春の同小卒業生。幼稚園年少児から県立石山高校

1年まで京都中央少年少女合唱団に在籍。石山高校から武蔵野音楽大へ進み、同大学院博士課程音楽領域を修了した。ソプラノの歌手として第17回大阪国際音楽コンクール歌曲部門最高位、オペラ部門入選を果たしている。今年3月、びわ湖ホールで開かれた湖国新進アーティストによる演奏会「ザ・ファーストリサイタル」に出演、日吉台からも多数の住民が応援聴

衆に駆けつけた。小さいころから音楽を愛し、ソプラノ歌手としての夢をかなえた秋津さん。後輩の日吉台小の子どもたちにもそのステージを見て欲しいとまじまじり協議会や小学校PTAが実行委を組織、小学校に招いた。

この日のコンサートでは、秋津さんは、オペラ蝶々夫人からの「ある晴れた日に」「ドイツニソングメドレー」「琵琶湖周航の歌」などを熱唱、リクエストに答えて「翼をください」「日吉台小学校校歌」を子どもたちと合唱、たのしいひとときを過ごした。

日吉小コミュニティ・スクール発足 市内小で初、委員長に濱崎さん

市内小学校で初めてとなる日吉台小学校のコミュニティ・スクールがスタート。「めざす子ども像」を求めて、地域、学校、家庭が協働で考えるコミュニティ・スクールの母体となる「日吉台小学校運営協議会」の設立総会が5月26日同小で開かれ、市教委が濱崎博・前日吉台学区自治連合会会長を委員長に計11人を委員に委嘱、実質協議会に入った。

コミュニティ・スクールは、地域が学校運営にかかわる制度。日吉台小の子どもたちをどんな子どもに育てたいか、地域学校、家庭の三者が意思を共有、協働で「めざす子ども像」づくりを進めることになる。市内では日吉中、皇子山中ですでにコミュニティ・スクールの運営が行われているが、小学校では今年度、日吉台小と真野北小でスタートする。

昨年度市教委が示した「小中学校規模適正化案」で、日吉台小は、全校で

新地域自治組織説明会一時延期

市・市自治連と調整必要

市自治協働課は、住民主体のまちづくりを実現をめざし「新たな地域自治組織(まちづくり協議会)」の設立に向けた住民説明会を6月、希望する学区で開催を予定していたが、6月の市自治連定例会で、市と市自治連の間でさらなる検討が必要として、開催を一時延期した。

人口減少や高齢化、地域活動の担い手不足や負担増など、各学区で自治会活動に支障が出始めるなか、打開策を検討していた市は、地域の全住民、各種団体、事業者などすべてを包括した新たな地域自治組織(まちづくり協議会)設立を目指した。

このため、市自治協働課は今年5月、新地域自治組織の活動内容や設立方法等について解説した「みんなであつくる住民主体のまちづくり」新たな地域自治組織の設立にむけての資料を製作、6月を目前に希望学区を対象に住民説明会開催を計画していた。

ひびく美声・観衆を魅了

ところが、6月初め開催された市自治連定例会では、出席した学区自治連会長らから市が示した新自治組織案に疑義が続出。今回の案は、新自治組織を導入する学区に対する財政支援策が明記されていない、センターを統合する市民センターのあり方検討についても触れていないなど各学区会長らが疑問点として指摘している。このため市は、市自治連合会との間で、詰め議論が必要と判断6月予定した住民説明会開催を一時見送った。

幼稚園へ手づくり遊具寄贈

3東の吹田さん



市立日吉台幼稚園(寺田賀寿代園長)に、3丁目東在住の吹田照義さんが手づくりの木製玩具を寄贈したII写真。

吹田さんは、同幼稚園にこれまでも木製玩具や木製ベンチを贈っていて寄贈第3弾。今回寄贈されたのは、木製のカルタ、飛び跳ねるウサギ、動物をモチーフにした輪投げ6点、積み木。積み木以外はすべてヒノキ材。一点一点手触りよく仕上げられ、園児にとって優しい玩具。幼稚園では「また、新しい遊びができる」と喜んでい

みこし巡行担ぎ手募集 学区夏まつり

日吉台学区の夏まつりで、「みこし巡行」をこなう成人男性によるみこし担ぎ手を募っている。

7月29日に開催される今年の学区夏まつり。祭当日、学区を練る日吉台駕輿丁によるみこし巡行は、まつりに華を添える日吉台の風物詩。同時にみこしにつながれた綱

クラス替えができない小規模校として検討対象校として名前が挙げられ将来の統合化が視野に入れている。日吉台小のコミュニティ・スクールでは、将来に向け、統合化議論が起らない学校づくりが求められ、新発足する同小コミュニティ・スクールの大きな検討テーマになっている。

第1回協議会では、市教委から委員に委嘱状が手渡され、田中誠校長が「日吉台学区の住民の間で、日吉台の教育を語る会が組織され取り組みが始まった。委員のみならずには、日吉台の子どもをどう育てるのかを熟議いただき、方向性をさぐりたい」とあいさつした。

を引く子ども引き手も募集中。問い合わせは坂口修一さん(0901372713290)まで。

ラジオ体操 参加者も

日吉台青少年育成学区民会議の夢・未来事業推進委員会は、7月21日、8月31日の夏休み期間中、日吉台小グラウンドで、恒例の夏休みラジオ体操を催す。

ラジオ体操は、午前7時から約10分間。土、日、祝日、お盆の11日、16日を除く平日に実施。雨天の場合も中止となる。申し込みは不要。問い合わせは、同事務局の山本由美さん(0901427918798)まで。